

令和5（2024）年7月1日（月）発行

赤磐市桜が丘東 6-6-704


さくらが丘保育園

『こども自身に乗り越える力を育てましょう』

人は成長するために多少の「負荷」が必要です。ただ、その「負荷」があまりに急激だったり、大きすぎたり、重すぎたりしたときに心身の不調につながることもあります。人と関わりながら社会生活を営むためには、自分の思い通りに行かないことも多々あります。私たちは、思い通りにならないことに折り合いをつけたり、自分自身ができるようにならないとどうにもならないことに向けて努力したりというプロセスを踏んで、人として成長していくんだなと思っています。

保育の中でこどもも保育者も「やってみよう」という気持ちが大切だと思っています。ただし、目標の設定は「少し背伸びをすれば手が届くところ」だと思っています。こどもに対して過度の期待を背負わせないことが目標設定に必要なことだと思うからです。目標→達成を重ねていき、いつの間にか目的を達成していた…が理想です。が、熱くなりすぎるとこどもたちに過度の期待をしてしまう自分を制しながら日々こどもと過ごしています。


花房 由美



もうすぐで七夕ですね。今年はきれいに天の川が見られるのでしょうか？楽しみです。

7月3日（水）に老人クラブの方が、笹を持って来てくださいます。7月1日よりお配りしている、短冊に願いを書いて、ぜひ笹にくくりつけてください。各クラスで製作中の七夕飾りもつけ、にぎやかな笹飾りになる予定です。

7月8日（月）には、願いが天まで届くように笹をはやしませます。



お知らせ

○7月1日（月）より、園からのお知らせは以下のように変更しています。

《行事・準備物・園だより等、大事なお知らせ》

→おまかせ保育システム内の『お知らせ』

（注）お知らせは20件しか表示されません。（情報の古いものから消えていきます）

必要な情報は、必ずスクリーンショットをしていただくか、おたよりのPDF版を保存してください。

《日々の保育の様子（つき・ほし・そら組）》

→各クラス前のホワイトボード

※はな・ゆき・にじ組は連絡帳にて日々の様子をお知らせしています。

変更することにより、届かない事例が発生しなくなると同時に、プッシュ通知機能がないため、おまかせ保育システムをたびたび確認していただく必要があります。

事務室窓口横の「お知らせ掲示板」を合わせてご確認ください。

《緊急時》

→おまかせ保育システムに登録されているメールアドレスにメール

※その他、お知らせ・ホームページ等でも発信します。

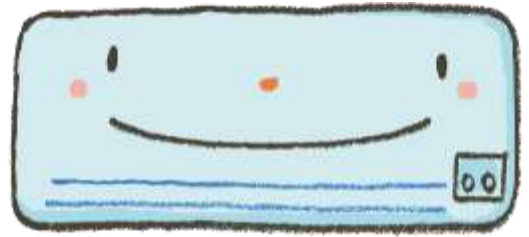


ん？何だこれ…？

冷たーい！
気持ちいいね！



すずらんより



園での服装について

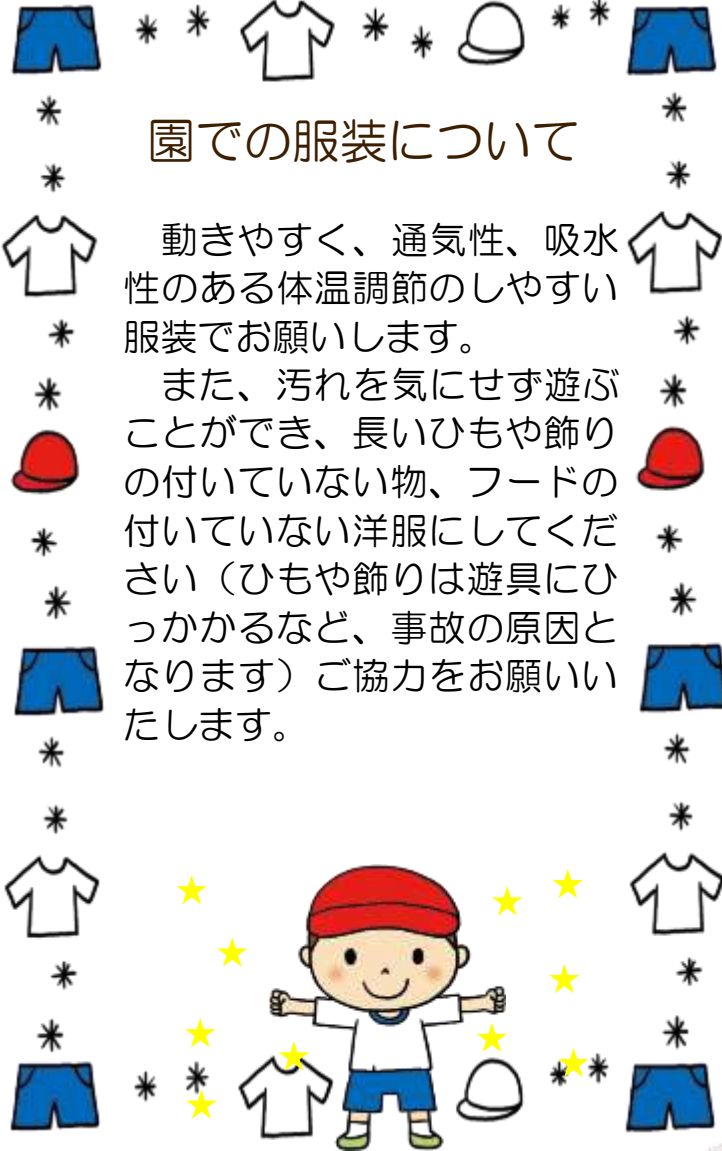
室内の温度調節

動きやすく、通気性、吸水性のある体温調節のしやすい服装をお願いします。

室内にいても熱中症になることがあります。クーラーを上手ににを使って温度調節をしましょう。扇風機も一緒に回すと、空気が循環して、室内の温度が一定に保たれます。また、お昼寝の際には、室内でも日陰になる場所を選び、クーラーや扇風機の風が子どもの体に直接あたらないよう、工夫しましょう。設定温度は、27～28℃が適温と言われています。

また、汚れを気にせず遊ぶことができ、長いひもや飾りの付いていない物、フードの付いていない洋服にしてください（ひもや飾りは遊具にひっかかるなど、事故の原因となります）ご協力をお願いいたします。

また、乳児のお昼寝の場合は、時々手足を触るなどして、冷え過ぎていないかどうかをチェックしましょう。



私の好きな絵本

絵本の中のリズムと自分の名前が入っていたこともあり、あすなろ保育園に通っていた時からのお気に入り。

家にもありましたが、保育園でも借りていました。

大森航輝



『クラスで今！ブームのあそび① そら組』



縄跳びを使って踊る、縄跳びダンス。
曲に合わせてリズムカルに体を動かしたり、友だちと2人組や3人組になって踊ったりしています。ダンスの動きがそろろうと、こどもたちの表情からは、気持ち良さや達成感が読みとれます。ダンスの最後に、縄を結びかっこよくガッツポーズする瞬間は、爽快さも感じます。

縄跳びが苦手な子もいますが、本人の気持ちを大切にしながら進めていきたいです。そして、一人ひとりのこどもの今できる最高の縄跳びダンスを、運動会で見せることができたらいいな…と、内心、計画をしています。

『クラスで今！ブームのあそび② にじ組』

歌あそびの『おおかみさん』が、こどもたちに大人気です。今は、保育者がオオカミ役をし、こどもたちはオオカミから逃げて楽しんでいます。時には自分から捕まりにいたり、オオカミの後ろを追いかけたりする子もいて、おもしろいです。今後もいろいろアレンジしながら、オオカミとのドキドキわくわくのやり取りを楽しみたいと思っています。👉👉👉



～集団あそび紹介～

『おおかみさん』（さくらが丘バージョン）

1. 「森の小道 散歩に行こう オオカミなんか怖くないよ オオカミなんか怖くないよ」と歌いながら歩く。
2. 歌が終わったら止まり「おおかみさーん おおかみさーん」とオオカミに向かって呼びかける。
3. 座っていたオオカミ役が「いま、起きた所だよ」と立ち上がる。
4. 歌を繰り返す。オオカミ「今、服を着ている所だよ」洋服を着る真似をする。
5. 歌をうたい「今〇〇している所だよ」という台詞を繰り返す。（ズボンを履いている、帽子を被っている、靴を履いているなど）
6. 何度か繰り返した後に「今、人間を食べに行く所だよ」という台詞で、周りの子ども達が走って逃げ、オオカミ役が他の子ども達を追いかける。捕まった子どもが次のオオカミ役になる。

今月のテーマ『こども自身に乗り越える力を育てましょう』



花は咲く



桜が丘幼稚園との交流会がありました。さくらが丘保育園のこどもたちの方が圧倒的に人数が多いとはいっても、初めて会う子の前で自己紹介するときは緊張感いっぱいでした。しかし、徐々に表情も柔らかくなり一緒にしっぽ取り鬼をする頃になると、慣れ親しんだ場所で遊んでいるようでした。初めての場所で初めて会う人と話をしたり過ごしたりする緊張感は、おとなもこどもと一緒にではないでしょうか。緊張する度合いがそれぞれ違っていても、こどもはすぐ新しい環境に馴染んでいくように思います。

そら組 土屋 勇気

戸板のぼりにチャレンジしています。戸板は足を掛ける部分がなく、自分の腕と足の力だけで登らなくてははいけません。今はまだ始めたばかりなので、登る時に足が滑ってしまい、なかなか登ることができません。しかし、保育者が「足を板の上まで掛けて登ってみるんだよ」などポイントを伝えたり、あと少しで登り切れそうな時に、少し援助をしたりしています。何度も繰り返していくうちに自力で登れる子が増え、応援し合う姿も見られるのではないかと楽しみにしています。今はコツコツ取り組んでいる姿をしっかりと認め、今後登りきることができた時の喜びと満足感を一緒に味わいたいと思っています。

ほし組 下山 静菜

いちばんぼし





食の好みがはっきりしているつき組のこどもたち。ある日、苦手な食べ物がおやつに入っており、お茶だけを飲んでいる子がいました。その姿を見て、友だちが「おいしいよ」「ちょっとだけ食べてみたら？」と伝えます。すると最初は「いらない」と言っていた子が、友だちの言葉掛けと、美味しそうに食べている姿を見て「小さいのにする」と、食べてみようとする気持ちになりました。食べてみると美味しかったようで、ニコニコしながら「おいしいね」と話していました。友だちを気にかけて声を掛ける姿、自分から苦手な食べ物に挑戦してみようとする姿に感動しました。それと共に、保育者の声掛けではなく、友だちの言葉掛けがこどもたちにとってより心に響くのだと感じました。こども同士の関わりの中で、乗り越えていく姿を、これからも見守っていきたいです。

つき組 竹内 和羅



にじ組になって初めての道具や素材にさわる機会も増えてきました。

ビーチバッグを入れる箱を作ろう！と、糊で画用紙を段ボールに貼ったのですが、はじめて使う糊に、抵抗があった子もいました。糊を指先に少し付けて、画用紙に塗ることを伝えるものの、糊をすくい過ぎ、ベタベタと手全体についてしまうこともありました。それでもその都度使い方を伝えたり、やり方を見せたりしているうちに、だんだんと糊の使い方にも慣れてきて、自分でつける量を調節できるようになった子もいました。

「つき〜」とノリノリで画用紙をえらんだり、「えい！」と段ボールに貼ったりと、夢中になって糊を使った製作を楽しみました。

にじ組 大森 航輝



友だちがしている姿を見て「楽しそう」「やってみたい」とチャレンジしてみますがなかなか上手くいかないことがよくあります。

部屋の壁に作ったボールを投げ入れるゴールに、何度か投げコツを掴み、ボールを入れられるようになった高月齢の子がいました。それを見た低月齢の子は、やってみたくてチャレンジしますが、なかなか上手くいきません。そんなときに、保育者に「入れて欲しい」と持ってきます。しかし、すぐにやってあげるのではなく、どうしたら成功するかヒントを伝えるようにしています。

その後、何日も掛けて楽しんでしていた低月齢の子は、ついに「入った」と目をキラキラ輝かせていました！壁を越えた瞬間に感じました。

ゆき組 佐々木 愛未



おはながわらった



ひとりで立ったり歩いたりする子が増えてきました。保育者が「こっちだよ」と少し離れたところから声をかけると、歩いて保育者の方へこようとします。まだバランスがとれなかったり、転んだりしますが、何度も自分で起き上がって歩いています。保育者の所に辿り着くと嬉しそうにニコニコ笑っています。

何度失敗しても、周りの大人に見守られながら、諦めずにやってみる。そして、できた喜びを感じられる経験をしてほしいと思います。

はな組 玉置 七彩

全私保連保育運動
新しい時代は
子どもから

保護者の皆様へ 私たちが伝えたい7つのメッセージ



今回のメッセージは……

その3 子ども自身に 乗り越える力を育てましょう

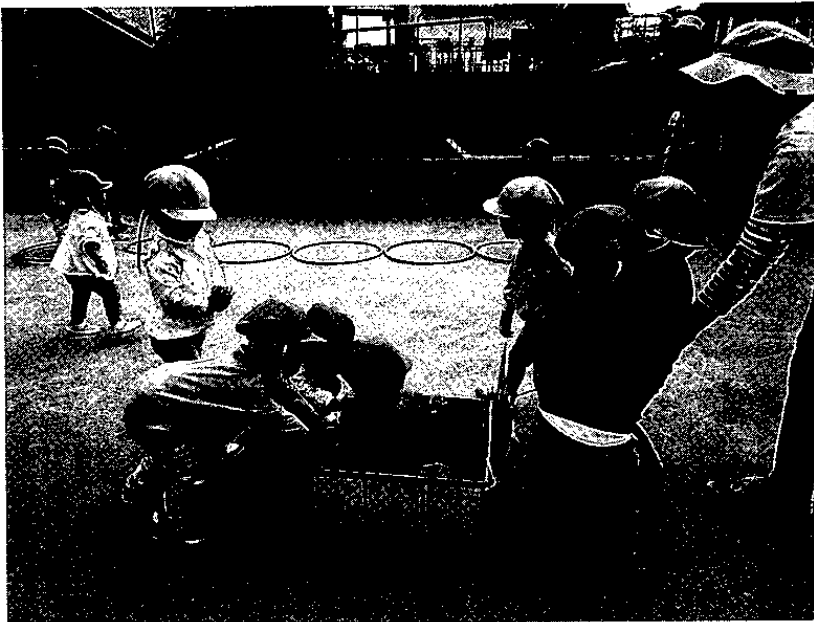
乗り越える力を育てる、難しくそうですね。でも、次のどれか一つからでも始めてみませんか。

【1つ調かん】

「早寝、早起き、朝ごはん」、または「早起き、早寝、朝ごはん」。子どもがご機嫌であることはとても大切です。小さな子どもは自分で生活習慣を整えることは難しく、まずは保護者の皆様の生活習慣が影響します。とは言え、現代社会では夜間に就労される方も多く、悩ましいですね。でもそこは未来志向で、「子どもに合わせる生活する時期」と割り切って、子どもを寝かせてから自分は復活するなど、工夫が必要で、一緒に布団に入って寝たふりをするのも、よい思い出になりますよ。上機嫌な子どもは、いろいろやってみたくなるものです。

【みんながいるから】

屋内外の遊戯場に行くと、こんなことを感じたことはありませんか。友だちでなくても人が多いと遊びが長続きする。少し難しい遊具を前



に躊躇う子が、スイスイこなす他の子を見てトライする。失敗する。怖い思いをする。できる子をじっと観察する。もう一度やって見る。失敗の度合いが減ったと感じる。何回もやってみる。できた！ 特に一ツ年上など年齢の近い先輩の様子を見ること、真似をすることは、乗り

越える力を育てます。

またこんなことも。給食に苦手な野菜が……。目の前でリカちゃんがおいしそうに食べている。先生も「食べなさい」なんて言わないで、「おいしいねえ、これ。給食の先生、頑張ったね」と優しく声をかけている。恐る恐る食べてみる。「オエー」やっぱ無理。でも、先生もリカちゃんも褒めてくれた。一口から完食へ。
「家ではやめとくけどね」

【私設応援団】

多くの保護者の皆様が、日頃から「子どもを褒めて育てよう」と意識されていると思います。ただ褒めることは意外と難しく、日々の保育の中で感じることをお話ししましょう。

まずはタイミングです。子どもにとって一日は長く、お昼寝をすると、起きたら翌日の感覚になっていることがあります。見逃さずすぐに、は大事です。次に、具体的に誉めること。「元気に挨拶できたね」「トイレのスリッパが揃っていて気持ちいいね」など。後はこっそり耳元で褒めるのも効果的です。自分が見守られている、大切に思われているなどの経験が、自己肯定感となり、挑戦する力になります。